



# 共 育

## 7/3 3年生が研究授業をしました。

校内外の先生が3年生の国語の授業を参観しました。授業は、「もうすぐ雨に」という教材文を読んで、感じたことを発表する学習です。教材文は、「チリン」という音をきっかけに、主人公の「ぼく」が、動物の言葉を聞くことができるようになるという不思議な物語です。

この時間の学習のねらいは、「場面ごとの不思議な出来事について、ぼくの気持ちがどのように変化していくか捉える」ことでした。

まずグループで話し合いました。国語の学習ですから、ぼくの気持ちが分かる叙述を根拠として考えを言わなければなりません。各グループでは、初めにトラノスケがしゃべった叙述を根拠に、「不思議だと思った。」「こわい感じがした。」「びっくりした。」「不思議だと思った。」という意見や、動物と話せるようになった部分や、「じっけん。じっけん。」と言っている部分を根拠にして「楽しい。」「おもしろい。」という気持ちに変わったなどの意見が出されました。また、物語の最後の部分で、急に話せなくなった叙述を根拠に、「少し悲しくなった。」「また話せるかなという気持ちになった。」という意見も出されました。グループ活動の後、全体で意見を交流し、まとめと振り返りを書いて授業は終わりました。

この日の授業は、4グループに分かれて学習しました。私が見ていたあるグループでは、全員が何度も発言し、全部で24回の発言がありました。このようにグループで話し合う活動は、全児童が発言する機会が与えられるので、今後求められる主体的・対話的な学習につなげることができます。



## 7/5 千里浜海岸ものしり教室(6年生)

県中能登土木総合事務所の方に来ていただいて、千里浜海岸の勉強をしました。千里浜の砂が細かいことを金沢の砂と比べたり、昔は海まで50mあった砂浜が一時、35mまで短くなったこと。その砂浜を復活させるために金沢港から砂を運んで千里浜の沖に入れたり、人工リーフを作ったりしたおかげで、徐々に砂浜が広がっていることを教えていただきました。



## 電話転送システムを開始します。

“共育NO.5“でお知らせしました教職員の多忙化改善のために行っている毎週水曜日の定時退校

【18時(内、月1回は17時)】実施に伴い、緊急時の連絡方法が課題となっておりました。

このことに関して、電話転送システムが下記のとおり整備されましたので保護者の皆様にお知らせいたします。

- 毎週水曜日18時(月1回は17時)頃以降、学校への電話は管理職に転送される。
- 夏季休業中の平日は、17時過ぎに学校が閉まるため、その後の学校への電話は管理職に転送される。
- 夏季休業中の閉庁日(8/14・15・16)の学校への電話は終日、管理職に転送される。

尚、あくまでも緊急連絡用です。急を要さない場合は、翌日の日中の連絡でお願いいたします。